



麻酔説明書

麻酔とは手術時の疼痛や陣痛など種々の外的ストレスから患者さんの心と身体を守るための医療で、一般的には以下のように伝わります。

刺激（疼痛）→感覚神経→脊髄神経→脳→脊髄神経→運動神経→手や足

そこで、手術内容と患者さんの状態によって以下の4つの麻酔法を組み合わせることで痛みの伝導をブロックして痛みのストレスを取り除いていきます。

【麻酔の方法】

1. 脊髄くも膜下麻酔法
2. 硬膜外麻酔法
3. 脊髄くも膜下硬膜外併用麻酔法
4. 全身麻酔法（静脈内鎮静法を含む）法

しかし、麻酔は比較的安全な医療行為ですが、やはり以下のような合併症をお話ししておかなくてはなりません。合併症に対しては注意深く対処していきます。

- 悪心・嘔吐（50-70%）
- 頭痛・掻痒感（数%）
- 神経障害（脊髄くも膜下麻酔で1/775,000、硬膜外麻酔で1/168,000）
- 局所麻酔中毒、呼吸障害、心機能障害（1%以下）
- アナフィラキシー・ショック、悪性高熱（0.01%以下）
- 肺炎、呼吸障害

麻酔説明医師

麻酔同意書

以上、上記麻酔説明を元に以下の事項について十分な説明を受け理解しましたので、麻酔を受けることに同意いたします。また麻酔中に緊急の処置が必要となった場合には、適時処置されることについても同意します。

年 月 日

患者氏名

本人ではない場合、家族の氏名（続柄）

以上、質問はありません